

2020 年 2 月 25 日

公益財団法人 新聞通信調査会

2019 年度「ボーン・上田記念国際記者賞」授賞者決定

公益財団法人新聞通信調査会は 25 日、2019 年度のボーン・上田記念国際記者賞を朝日新聞社経済部次長の村山祐介（むらやま・ゆうすけ）記者（48）に贈ると発表した。同賞は優れた国際報道を顕彰するものである。

1989 年にベルリンの壁が崩壊し、東西を分断した冷戦が終焉、国境を越えた人、モノ、カネの流れが加速するグローバル化の時代に移行、平和と発展が期待された。しかし、現実の世界はそれを裏切り、格差の拡大と政治の不安定化、テロ、自然災害の多発、パンデミック（感染症の世界的な流行）の危機、様々な分断（ディスラプション）等が生まれている。主要国の自国中心主義への傾斜によって多国間協調が弱まり国際秩序に揺らぎが生じている。

そうした時代のなかで、ジャーナリズムとジャーナリストの力量が問われている。ポスト・トゥルースの時代だと指摘され、フェイクニュースが横行するなかで、いかに時代潮流を客観的に把握し、真実を追求、報道できるかが問われている。

村山記者の報道活動はそうした社会のニーズにこたえる一つのモデルとなりうるものである。同記者はグアテマラなど中米 3 カ国からメキシコを通過して米国を目指す移民集団に同行取材してその実像に迫った。足かけ 2 年、ほぼ 3 カ月にわたり 7 カ国で現地取材した。陸路で約 1 万 5000 キロを走破、移民のルートである未開のジャングルに入り、また荒波の中、小さなボートに移民集団とともに乗り込む航行もした。

記者魂を実感させるような体を張った粘り強い取材を通じて、南米から米国を目指す移民の出身国がアフリカ、アジアを中心に約 50 カ国に及んでいる実態をつかんだ。インタビューは約 300 人、その出身国は 18 カ国に及んだ。欧州諸国が難民締め出しを始めたあと、この中南米—メキシコ・ルートがグローバルな移民、難民の新たなルートとなっていることを突き止めたことは、注目に値する。

取材の成果は朝日新聞日曜版 GLOBE の大型ルポとして掲載されたが、村山記者は自ら写真撮影、動画撮影もこなし、新聞紙面にだけでなく個別テーマを掘り起こしたたくさんのネット記事、さらにはテレビのドキュメンタリー番組としても発信した。多様なメディア、媒体を駆使して、幅広い読者、視聴者に情報提供した報道の姿勢も特筆に値する。

世界はめまぐるしく変動している。歴史は「終焉」ではなく加速している。選考にあたったボーン・上田記念国際記者賞委員会は「村山記者が提供するような情報が、内向きで現状維持のムードに傾きがちな日本において覚醒効果を持つことを期待したい」としている。

村山記者は 1971 年生まれ。1995 年三菱商事に入社。2001 年、朝日新聞に転じた。北海道報道部、米国総局員、ドバイ支局長を経て 16 年 5 月、GLOBE 編集部、19 年 4 月から経済部次長。東京都出身。48 歳。



村山祐介氏

ボーン・上田記念国際記者賞は、日米協力による自主的な世界ニュース通信網の確立に献身したマイルズ・W・ボーン元 UP 通信社(後の UPI 通信社)副社長、および同氏と親交のあった上田碩三(うえだ・せきぞう)・元電通社長が 1949 年に東京湾の浦安沖で遭難されたのを惜しみ、また両氏の功績を顕彰して 1950 年に設けられた。優れた国際報道を通じて国際理解の促進に顕著な貢献のあった記者個人に贈られる。

(注 1) マイルズ・W・ボーン→Miles・W・Vaughn

(注 2) 受賞者の顔写真をご希望の場合は、chosakai@helen.ocn.ne.jpまでメールを送りいただければ返信に添付します。

◆授賞式と記念講演会

授賞式は 3 月 26 日(木)午後 6 時から東京・内幸町の日本記者クラブで行います。例年、受賞者の記念講演会をニュースパーク(日本新聞博物館)で開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を考慮し、開催時期などは未定です。

◆新聞通信調査会とは

新聞社や通信社をはじめとするメディアの発展に寄与することを目的にジャーナリズムやマスコミュニケーションの調査・研究をしている公益財団法人です。同盟通信関係資料のデジタルアーカイブ、報道写真展、世論調査、シンポジウム、講演会、月刊誌『メディア展望』発行、ボーン・上田記念国際記者賞授与、出版補助、通信社ライブラリー運営などさまざまな公益事業を実施しています。

名称	公益財団法人 新聞通信調査会
英文名称	Japan Press Research Institute (略称 JPRI)
設立年月日	1947 年 12 月 15 日
公益財団法人移行	2009 年 12 月 24 日
代表者	西沢豊理事長

(問い合わせ先)

◆賞の内容について

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1

日本プレスセンタービル 1 階

公益財団法人新聞通信調査会

ポーン・上田記念国際記者賞担当

電話 03-3593-1081

e-mail chosakai@helen.ocn.ne.jp

担当 岡野、平山、米山

◆受賞記念講演会について

〒231-8311 横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター

日本新聞博物館

電話 045-661-2040

e-mail : hakubutsukan@pressnet.or.jp

担当 楯石

以上